

外国人が増えて不安？

事実は
どうでしょうか

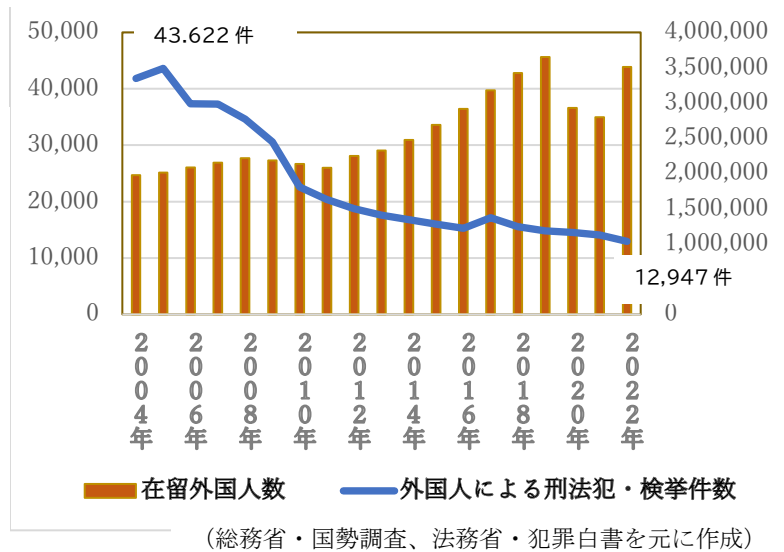
Q. 治安が悪くなっている？

A. 刑法犯は減っています

外国人による刑法犯の件数は、2005年の約4万3千件をピークにほぼ毎年減り続け、22年には3分の1にまで減っています(右のグラフ参照)。

在留外国人の人数が、同じ時期に約1.8倍になっていることを考えても、「外国人の増加で治安が悪化している」というのは、事実とは違います。

また、「罪を犯しても起訴されない」という話も、刑法犯全体の起訴率 36.9%に対して、外国人は 41.1%と、むしろ高いのが実態です。



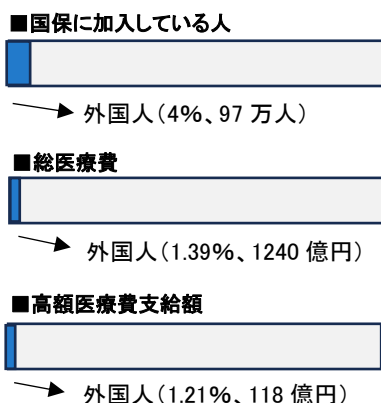
Q. 医療費を食いつぶしている？

A. 外国人の医療費給付はむしろ少ないです

国民健康保険加入者のうち外国人は約4%ですが、外国人に給付されている医療費は全体の1.39%。外国人への給付はむしろ少ないのです。(右グラフ)

日本に来る外国人は、働き盛りの健康な人が多く、税金や保険料を納めることで、日本の社会保障の重要な支え手にもなっています。「食いつぶし」など、とてもありません。

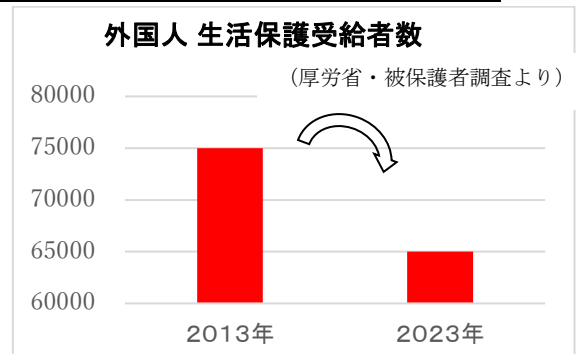
国保における外国人の状況 (厚労省のデータより作成)



外国人の国保料納付率は現在 63%。これを高めるためには、経済的困難の解決、保険制度への理解の促進が必要です。

Q. 生活保護費が増えてる？

A. 受給は減っています



日本に暮らす外国人は、この10年で約1.7倍に増えてましたが、上のグラフの通り、生活保護の受給は減っています。また、受給者全体に占める外国人の割合も、同じ10年間で 3.48%から 3.25%と減っており、「外国人は保護を受けやすい」というのも事実と反します。

生活保護は、憲法や法律にもとづく権利であり、外国人も含めて、誰でも使える制度でなければなりません。

外国人は、私たちとともに社会を支えている隣人です

誤解や偏見につけこみ、日本人との間に、対立をおおるのは良いことでしょうか？
生活圧迫、福祉きりすて、貧困と格差を作り出した自民党政治をいっしょに変えましょう